

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

【小学校・義務教育学校前期課程】

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

3 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
- (2) 児童質問調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査）
- (3) 学校質問調査（学校における指導方法に関する取組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査）

4 調査日

令和8年4月23日（木）

II 学力調査の結果

1 教科に関する調査結果（平均正答率）

	国語	算数
全国	60.9	56.4
広島県	64	58
府中市	65	60

2 調査の結果にみられる特徴（全国正答率を上回った特徴的な項目）

【国語】

【知識・技能】言葉の特徴や使い方に関する事項

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる（市 59.1% 全国 45.2%）

【思考・判断・表現】読むこと

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる（市 88.7% 全国 76.4%）

【算数】

【知識・技能】数と計算

単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる（市 81.3% 全国 68.1%）

【知識・技能】図形

立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる（市 83.9% 全国 72.7%）

3 調査の結果にみられる課題及びその課題に対する改善策

【国語】

課題	課題に対する改善策
【思考・判断・表現】書くこと 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる（市 53.5% 全国 57.9%）	・書く活動と文章の構成や段落の役割を読む学習とを関連付けて指導するとともに、書く前に考えを整理する活動や、構成を意識して推敲する場面を日常的に取り入れる。
【知識及び技能】情報の扱い方に関する事項 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる（市 48.3% 全国 48.9%）	・主として「書くこと」の学習において、考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係を的確に捉えることができるよう、文章中の主張・理由・事例の関係を整理する活動や、思考ツール

	等を活用し、情報の整理や比較をしたり、自分の考えを理由や根拠と関連付けて表現したりする活動を取り入れる。
--	--

【算数】

課題	課題に対する改善策
【知識・技能】図形 体積の意味について理解しているかどうかをみる（市 32.2% 全国 40.1%）	・ 公式を繰り返し練習するだけではなく、1立方センチメートルの実物の立方体を基に体積を捉えるなど単位量の考え方を実感的に理解できる活動を取り入れる。
【知識・技能】数と計算、変化と関係 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる（市 30.9% 全国 34.2%）	・ 問題場面をテープ図や線分図などで表す活動を充実させるとともに、図と式を関連付けながら数量の関係を考えたり、基準量を意識して割合を捉えたりする学習を継続的に取り入れる。 ・ 小数の学習では、数直線や具体物、図などを用いて「1を基準とした大きさ」として小数の意味を理解させ、量の大きさを捉える活動を充実させる。

4 児童質問調査の結果にみられる特徴（全国平均値を上回った特徴的な項目）

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか （市 97.8% 全国 91.4%）
--

5 児童質問調査の結果にみられる課題及びその課題に対する改善のポイント

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目	改善のポイント
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか （市 76.6% 全国 79.4%）	・ 児童自らが学び方を選択できる場面を設定する。 ・ 「どのような方法で学んだか」「その方法は効果的だったか」など学習を振り返る機会を充実させる。